

# けんこうガイド

4・5月

☑=内 容  
☒=対 象  
☑=定 員  
☑=持 ち 物  
☑=費 用  
☑=申し込み

健康推進課(保健センター内) 〒362-0074 春日2-10-33 ☎774-1411 ☎776-7355

母子保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
10か月児健康相談	4月18日(水) 保健センター 午前9～10時	☑平成23年6月の出生児 ☑母子健康手帳、おむつ、バスタオル	☑当日、直接会場へ ※発熱時や感染性疾患の疑いのある人はご遠慮ください。
4か月児健康診査 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査	対象者には個別通知。転入してきた人、通知が届いていない人は、お問い合わせください。 ※日程など詳しくは、『上尾市健康カレンダー』または市ホームページをご覧ください。		
ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種	生後2カ月～4歳の乳幼児を対象に市内実施医療機関で無料接種を行っています。予診票は保健センター、市内実施医療機関に設置しています。接種を希望する場合は、必要性を理解した上で、本人の体調の良い時に受けてください。		
子宮頸がん予防ワクチン接種	無料接種対象は、平成8年4月2日～12年4月1日生まれの子です。接種回数は3回で、接種開始から接種終了まで6カ月間かかります。詳しくは市ホームページをご覧ください。		

成人保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
健康ライフ応援相談	4月20日(金) 保健センター 午前9時10分～10時10分	☑保健師、栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士による健康相談。脂質異常症、高血圧、糖尿病、骨粗しょう症など生活習慣病予防のための相談と健康診査後の相談 ☑健康面で心配がある人 ☑健康手帳(持っている人)、歯ブラシ、健診結果票	☑4人 ☑電話で健康推進課へ(予約制)
精神科医師によるこころの健康相談	4月20日(金) 保健センター 午後1～3時	☑保健師・精神科医師による面接相談 ☑精神面で心配がある人と家族	☑3組 ☑電話で健康推進課へ(予約制) ※申込時に相談内容を確認します。
臨床心理士によるこころの悩み相談	4月24日(火) 5月9日(水) 保健センター 午前9時～午後4時	☑臨床心理士・保健師による面接相談 ☑何となく元気がない、眠れない、ついお酒に頼ってしまう、もしかしたら「うつ」かな?、対人関係に悩んでいる、育児・介護などに疲れてしまったなどの心の悩みを抱えている人	☑4組 ☑電話で健康推進課へ(予約制) ※申込時に相談内容を確認します。
統合失調症患者の家族サロン	4月19日(木) 保健センター 午後1時30分～3時	☑共通の悩みを持つ家族の話し合い ☑統合失調症患者の家族	☑当日、直接会場へ
がん検診・各種検診	胃がん検診、肺がん・結核検診、乳がん検診の4～6月の申し込みを受け付けています。日程、申し込み方法は『上尾市健康カレンダー』または市ホームページをご覧ください。		
ソーシャルクラブ	4～7月は休止 ※登録者を募集します。	☑精神障害者の社会復帰支援のためのグループ活動 ☑心の病(統合失調症など)の回復期で在宅療養中の人	☑15人 ☑電話で健康推進課へ(登録制) ※登録時に状況を確認します。

## 平日夜間・休日診療

### 【平日夜間診療】

#### 小児科・内科

「平日夜間及び休日急患診療所」(緑丘2-2-27 上尾医療センター内、☎774-2661・☎772-1353)で行っています。

▷診療日 月～金曜日(祝日を除く)

▷診療時間 午後8～10時(受け付けは午後8時～9時30分)

### 【休日診療】

#### 内科・小児科・外科

「平日夜間及び休日急患診療所」(上記参照)で行っています。

▷診療日 日曜日・祝日・年末年始

▷診療時間 午前9時～正午、午後1～4時(受け付けは午前11時30分まで、午後は3時30分まで)

#### 歯科

「北足立歯科医師会休日診療所」(鴻巣市赤見台1-15-23、☎048-596-0275)で行っています。

▷診療日 日曜日・祝日

▷診療時間 午前9時30分～午後0時30分

### 【休日】

#### 産婦人科

5月	当 番 医
3日	ナラヤマレディークリニック ☎771-3659・☎771-3922
4日	木下産婦人科クリニック ☎787-5533・☎787-3801
5日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122
6日	ひらしま産婦人科 ☎722-1103・☎722-1146
13日	ナラヤマレディークリニック ☎771-3659・☎771-3922
20日	木下産婦人科クリニック ☎787-5533・☎787-3801
27日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122

▷診療時間 午前9時～正午、午後1～4時

◆広報掲載の後、当番医の変更が生じる場合もあります。各新聞の埼玉版休日医欄も参考の上、お出掛けください。

●こんな時には、埼玉県救急医療情報センターの県民案内サービスのご利用を!

①救急車を呼ぶほどではないが、緊急に受診が必要なとき

②休日・祝日、夜間などのとき

③どこで診てもらえばよいか分からないとき  
診療が可能な医療機関をご案内します。

▷電話番号 824-4199(24時間対応)

医療機関・薬局の情報は、県ホームページの埼玉県医療機能情報提供システムも併せてご利用ください。

●子どもの急な病気に困ったら小児救急電話相談に相談を!

子どもの急病時(発熱、下痢、嘔吐など)の家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

▷相談日時 月～土曜日/午後7～11時

日曜日・祝日・年末年始/午前9時～午後11時

▷電話番号 #8000(NTTプッシュ回線)

833-7911(ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話)



371

ポリオ

今月の健康

ポリオ(急性灰白髄炎)は、ポリオウイルスが脳に感染し引き起こされる急性ウイルス感染症です。後遺症として手足にまひが残ることがあります。確率は1割以下ですが、まひになってしまうと治療法はありません。そのため予防が大切で、世界中でワクチンが接種されています。日本では昭和56(1981)年を最後にポリオの患者は発生していませんが、世界では政治情勢が不安な国を中心に流行が見られます。これらの国から持ち込まれる可能性もありますので、ワクチン接種は必要です。

ポリオワクチンには、ウイルスを弱毒化した生ワクチンと、ウイルスを化学処理して感染性と病原性をなくした不活化ワクチンの2種類があります。日本では現在、生ワクチンを使用していますが、まれに生ワクチンを接種したためポリオを発症し、まひが残ってしまう場合があります。ワクチン関連まひといわれ、100万人に1.4人の頻度で発症します。実際日本で発症するポリオは全てワクチン関連まひです。

世界では先進国を中心に、まひを起こす危険のない不活化ワクチンへの切り替えが進んでいます。日本でも本年度末に不活化ワクチンに切り替わる予定ですが、一部医療機関では不活化ワクチンを個人輸入し、有料で希望者に接種しています。不活化ワクチンは下痢や抵抗力に問題のある子どもにも接種できる反面、現時点で国の承認を得ていないので、ワクチンによる健康被害に対する補償がありません。

それぞれのワクチンの利点と欠点をよく理解し、接種することが大切です。また不活化ワクチン導入まで接種を待つという人もいますが、導入まで1年あるので勧められません。

上尾市医師会